

2022秋季年末鬪爭11.10全國統一行動

物価高騰で生活悪化 年末一時金を大幅に引き上げよ



弁士には6組合代表が賃上げを訴える。チラシを手に聞き入る姿も(11月10日新宿駅東口アルタ前)

秋季年次闘争は回復指定日の翌日11月10日を統一行動日として、職場でストを構えた。体交渉や産別行動が行われました。東京（中央）では省庁交渉、「方には産別の仲間が新宿駅東口に60人集ま
街宣を実施。同じ時間帯に全国一般労組を中心^にに80人が厚労省前で要請宣伝と銀座デモ（共催・中央区労協、日本マスコミ情報労組）会議、中央区春闘共闘を行いました。

4組合がストライキ
統一行動日には、「東京医労連」はストライキを構え2組合が実施、単産として新宿駅での宣伝と都庁への要請とアピール行動を行いました。

「J.M.I.T.U東京」では2組合がストを行うなど粘りづよく交渉。「建交労東京」がトラック10社と集団交渉、スト通達し8社で上積回答し前年を上回りました。

「出版労連」は物価高騰を補うために臨時手当として一律10万円を要求として掲げ、単組の交渉

3万円上昇し加重平均も1・5万円伸びた。40歳未満の労働者の職場のうち14支部で上昇みや20数年ぶりの回答を得た支部もあり、構えを

人を確実に
賃上げへ
文總連東京地連

考慮し、11月14日から15年ぶりとなる東京特別区・武三地区のタクシーレンジ改定の認可を行いました。

改定にあたって国土交通省は、改定増収率を14・24%と示し、事業者にその内の8%は労働環境改善につなげることを求める方針を出しました。

自交総連は運賃改定前年内から春闘への向けた組合員の声を集め取り組みが求められます。

す重要などなっています。

アジア諸国と眞の 平和外交をつらぬけ 敵基地攻撃保有に反対

(事務局・東京地評)は12月9日、都内3駅頭(新宿、四ツ谷、大塚)で共闘宣伝を行いました。3駅頭で延べ100人が参加し、チラシ1000枚を配布しました(写真は新宿駅西口宣伝の様子)。

岸田政権が国家安全保障戦略など安保関連3文書の改定に向け、12月2日、自公両党は相手国への攻撃を可能とする「敵基地攻撃能力(反撃能力)」の保有で正式合意しました。政府が「専守



軍拡より国民のくらしの立て直しに 税金を使え

「防衛」さえ有名無実
し、戦後安保政策の大
換を図るなかでの宣伝
働きは、エーベンセンの
ワーカーとしての使命
を持って業務を続けて
ました。しかし賃金環

し
朝や雨天時には酉
がままならず公共性、
便性が悪化しています。
国は、こうした状況
もとでも、相手国が攻撃
に「着手」していれば
使できます。相手国のみ
使できません。

自交総連は運賃改定前に、国交省と関東運輸局に対しても要請を行い、運賃改定は労働条件改善のためとする趣旨を確認した。

妥結額・月数とも前年比増 23春闘飛躍への大きな一步

持つて取り組んだ成果
言える（J M I T U 東京）。人事院の確定闘争
が11月中旬に確定。都議会
組合との交渉で会計任
職員の一時金に勤勉手当
を入れることになった。
(東京自治労連)。

1次集計から672組
増えて1114組合で
答引き出しとなつてい
ます。回答数の判明し
いる942組合での単筆
平均（一組合あたり）
2・01方月（前年同期
0・02月増）上回つて
ます。また回答金額の
純平均額は58万177
円（前年同期比1万5
18円）上回つています
現時点での到達は物

高騰に見合っただけの水準に至つてなく、このままでは生活悪化をきたすもので、仲間の生活実態からすれば年末一時金だけで払拭できるものではなく、来春闘での大幅ベースアップ獲得がますます重要となっています。年内から春闘への向た組合員の声を集め取り組みが求められます。

考慮し、11月14日から15年ぶりとなる東京特別区・武三地区のタクシー運賃改定の認可を行いました。

改定にあたって国土交通省は、改定增收率を14・24%と示し、事業者にその内の8%は労働環境改善につなげることを求める方針を出しました。自交総連は運賃改定前に、国交省と関東運輸局に対して要請を行い、運賃改定は労働条件改善のためとする趣旨を確認。

秋季年末闘争ではノースライド+αの方針を決定し、加盟各組合に增收分を確実に賃金、労働条件向上につなげるために、事業者と確認書締結を求めました。

また、指針に反して、改善をしない又は賃下げをする事業者を是正させるため、関東運輸局に告発する闘争を展開し、運動を強化しています。【書記長林悦男】